

66 “いのち”の豊かさとは ～現代社会からの問いかけ～

21世紀を迎えた現代社会は「進歩」という言葉の下、様々な領域で不可能な事柄を可能な事柄へ転じてきました。その事実は私たちの生命（いのち）を豊かにしたのでしょうか？！現代社会の生命領域の具体的事象（臓器移植など）に向き合いながら、“いのち”観の構築に挑戦します。その際、宗教文化（キリスト教文化）にも若干言及する予定です。いのちの意義をその存在自体ではなく、その関係性に注目しつつ、探究します。

講 師

小崎 眞 教授

専 門 分 野

歴史神学(キリスト教教会史等)、
実践神学(宣教論)、宗教倫理

現在の研究テーマ

日本社会におけるキリスト教、生活に根ざした倫理学

担 当 科 目

いのちと倫理、死生学

出 講 可 能 日

月・土曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

67 身近な専門家による家族支援の進め方

各自治体が実施する子ども・子育て支援施策において、子ども支援センターや児童館、保育所での家族支援がクローズアップされています。児童指導員や保育士、管理栄養士などの“市民から一番身近な専門家”に求められている家族支援の方法と、その基本的なあり方について、対話型の授業として進めます。

講 師

宮本 義信 特任教授

専 門 分 野

社会福祉、児童福祉

現在の研究テーマ

東アジアの社会福祉—思想・制度・実践—

担 当 科 目

社会福祉学、世界の社会福祉

出 講 可 能 日

火・金曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

68 動物園の社会心理学—夢見る動物園—

生涯に3度訪れると言われる動物園<最初は親と、2度目は子どもと、3度目は孫と>。本講義では、動物園の社会心理学的な働きを様々な観点から論議します。関西圏にあるいくつかの地方動物園の現場観察に基づき、地方動物園が直面している様々な問題を浮き彫りにします。'90年代の戦後・高度成長の終焉に伴い財政難に陥った地方動物園が採用した様々な再生方略の検討も含め、魅力溢れる神秘空間である動物園を社会心理学的観点から解剖します。

講 師

諸井 克英 特任教授

専 門 分 野

社会心理学

現在の研究テーマ

社会行動を支える心理学的メカニズムの解明

担 当 科 目

音楽社会心理学、現代青年の心理と行動

出 講 可 能 日

水・金・土曜日

講義に必要な機材

プロジェクター(パソコンとDVD併用)、
スクリーン、パソコン、持参するDVDを接続できる装置

69 ファストファッションの服づくりと私たちの衣生活

「早くて、安い」服、ファストファッション。流行をとりいれた低価格の衣料品は、現在、世界規模で大量に生産、販売され、私たちの身のまわりに溢れています。ファストファッションの服はどこでどのように生み出されているのでしょうか？その服づくりを見直し、私たちの衣生活への影響を検証します。また、ファストファッションとは異なる手法の服づくりの可能性についても考えてみたいと思います。

講 師

平光 睦子 教授

専 門 分 野

近現代の服飾文化史
デザイン史

現在の研究テーマ

19世紀インド・英国のテキスタイル産業の近代化
明治期の美術工芸産業・染織産業の近代化

担 当 科 目

衣生活学、服飾デザイン論

出 講 可 能 日

春学期：火・土曜日 秋学期：月・土曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

70 北欧のすまいにみるインテリアデザイン

北欧諸国では、冬の日照時間が短く、厳しい冬を室内で快適に過ごすための様々な工夫がみられます。また、自然を享受する権利を大切にしているため、木や植物、光をできる限り室内に取り込むインテリアデザインが、北欧住宅の大きな特徴です。本講義では、北欧住宅の壁紙や照明器具などのインテリアデザインを紹介し、フィンランドの建築家 Alvar Aalto の建築の特徴について概説します。

講 師

奥田 紫乃 教授

専 門 分 野

光環境評価、感性デザイン、
視覚心理・生理

現在の研究テーマ

化粧に最適な照明環境、住宅の内装材と光環境、
壁紙デザインと室内の雰囲気

担 当 科 目

居住環境学、くらしの色彩学

出 講 可 能 日

月・金曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、パソコン

71 ココ・シャネルのモードを読み解く

ラグジュアリーブランド「シャネル」は、20世紀初期に「ココ・シャネル」の愛称で親しまれたガブリエル・シャネルによって創業されました。彼女が提案したファッションデザインやスタイリングを紹介し、アイデアの源および服作りや装いに対するこだわりについて解説します。また、時代、社会、ライフスタイルとファッションの関わりについて考え、ココ・シャネルが発信したモードに込められたメッセージを読み解きます。

講 師

藤本 純子 准教授

専 門 分 野

被服造形・被服デザイン

現在の研究テーマ

20世紀初頭の衣服デザインと構成、
歴史衣装のレプリカ制作

担 当 科 目

服装情報論、被服造形論

出 講 可 能 日

火・土曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、パソコン

72 持続可能な地域づくりにむけて

現在、日本では過疎化や少子高齢化など多くの課題を抱えています。なかでも農山漁村地域は過疎化などの課題が深刻で、都市農村交流や地域おこし協力隊など、持続可能な地域づくりにむけて多くの取り組みが行われています。このような地域課題とそれに対するさまざまな地域づくりの事例を扱いながら、これからの地域づくりについて考えていきたいと思えます。

講 師

齋藤 朱未 准教授

専 門 分 野

農村計画

現在の研究テーマ

農業の六次産業化、農山村ツーリズム

担当科目

まちづくり概論、環境教育論

出講可能日

金・土曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

73 宮崎アニメのおもしろさ、豊かさについて

アニメ『魔女の宅急便』のキキは、なぜ「13歳」で家を出ることになったのだろう、なぜキキは途中で飛べなくなってしまったのだろう、なぜ黒猫のジジと話ができなくなってしまったのだろう・・・気になることがたくさんあります。この作品には角野栄子さんの原作がありますが、原作とアニメとではどこが違っているのだろう、これも気になります。丁寧に作品を見てゆくと、漠然と見ていただけでは気がつかなかった意外な世界が見えてきます。

講 師

村瀬 学 特任教授

専 門 分 野

児童文化

現在の研究テーマ

児童文化の歴史児童学、児童文化と映像

担当科目

児童学、児童文化と映像

出講可能日

月曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、
パソコン (Power Point 使用)

74 文化を活かすまちづくり

よく耳にするようになった「まちづくり」や「地域活性化」という言葉。まちづくりとは何なのか、現在、まちづくり分野に何が求められているのかを解説します。人間生活学科の学びの場である今出川キャンパスがある京都は、歴史や文化を核としたまちづくりのトップランナーです。一緒に、まちと私たちの暮らしとの関係性や、私たちに何ができるのかを考えてみましょう。

講 師

麻生 美希 准教授

専 門 分 野

都市計画、文化財の保存管理、
ツーリズム

現在の研究テーマ

近代開拓の文化的景観としての評価、地域主体の景観マネジメント

担当科目

景観デザイン学、地域遺産論

出講可能日

金・土曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン